

6月6日：VN指数は取引終盤に反落 (VN-Index -0.06%)

- 昨日と同様、VN指数は勢いよく上昇して取引を開始した。
- ATO セッション終了後はポジション調整とみられる売りがみられ、指数は後退。ただ、前場は常にプラスで推移した。
- 後場、特に大型株を中心に上値を追う展開がみられた。しかし、薄商いの中で市場は失速し、取引終盤には下落に転じた。
- セクター別では旅行・レジャーや保険セクターが足を引っ張った一方で、メディアセクターが支えとなった。
- 200 銘柄が上昇、224 銘柄が下落、80 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 7.7%減の 22.2 兆ドンとなった。

VN30 指数は辛うじてプラスに (VN-30 +0.20%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、12 銘柄が上昇し、10 銘柄が下落、8 銘柄が横ばいとなった。
- 上昇銘柄では STB (+3.72%) や SHB (+2.60%) が目立った。
- VNM (-1.90%) は昨日 VN30 指数のけん引役だったが、本日は最も売られた。

セクター・個別株の動き

- APH (+6.86%) は、子会社である AAA (+1.70%) が TCB (+1.05%) から資本を借り入れるのに際し、保証することを承認した。なお、保証額は 2000 億ドン相当。
- GMD (0.00%) は近頃、2024 年株主総会資料の公表に伴い、約 3 兆ドンの増資計画を発表した。調達される資金のうち、2.2 兆ドンは固定資産の購入、2306 億ドンは銀行ローンの返済、残りは子会社への資本拠出に用いる。
- 外国人投資家は 7430 億ドンの売り越し。目立った買い越し銘柄が乏しい中、FPT (-0.36%) や TCB (-1.05%) が大きく売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。